

**令和5年度 第1回
市民と議会の懇談会概要**

**令和5年 10～11 月開催
宮 津 市 議 会**

市民と議会の懇談会—結果概要—

(令和5年10～11月開催)

1 班編成

班	構成議員	担当地区
1班	◎久保 浩 幾世 恭典 堀 未季 松浦 登美義 坂根 栄六 松本 隆	吉津、上宮津、栗田、 養老、日ヶ谷、 宮津 (城東部)
2班	◎宇都宮 綾 安田 裕美 河原 末彦 星野 和彦 長本 義浩 横川秀哉	世屋、府中、由良、日置、 宮津 (中部・西部)、(東 部・城南部)

◎: 班長 (※各会場とも、正副議長どちらか参加)

2 開催日時

●地区別

対象地区を設定していますが、ご都合のつく会場に参加いただいています。

日	時	場 所	担当	参加者数
10月24日(火)	19:30～21:00	吉津地区公民館	1班	21人
10月29日(日)	19:30～20:00	(城東部) 福祉・教育総合プラザ	1班	0人
11月6日(月)	19:00～20:30	上宮津地区公民館	1班	15人
11月8日(水)	19:30～21:00	栗田地区公民館	1班	25人
11月9日(木)	19:30～21:00	里波見公民館	1班	14人
11月10日(金)	19:30～21:00	日ヶ谷地区公民館	1班	13人
10月23日(月)	19:00～20:30	世屋地区公民館	2班	7人
10月31日(火)	19:30～21:00	(中部・西部) 福祉・教育総合プラザ	2班	9人
11月1日(水)	19:30～21:00	府中地区公民館	2班	11人
11月6日(月)	19:00～20:30	由良地区公民館	2班	13人
11月7日(火)	19:00～20:30	日置地区公民館	2班	18人
11月10日(金)	19:30～21:30	(東部・城南部) 城東会館	2班	12人
計		12会場		158人

3 報告概要、意見等

第1班の報告 2 ～ 11 ページ

第2班の報告 12 ～ 28 ページ

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年10月24日（火） 19：30～21：00
開催場所	吉津地区公民館
出席議員	班長：久保 議員：松浦・坂根・松本・堀・幾世
参加人数	21人
令和4年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・決算の不用額4億6千万の質疑はあったか（残額を多く残さず市民のため有用に使うべき）。 ・新庁舎のあり方について進捗状況は。 ・固定資産税13億7500万で去年比5600万増、地籍調査を須津は、どの地域よりも早く開始。（調査後の税額効果は、1.3倍増となるはず。令和元年頃は、全地域地籍調査後に税額適用の話だったと思うが、）いつ頃か終わった地域から適用になり年間約5千万増。他地域調査も含め全体の状況は。 ・下水道会計を値上げしたが、赤字が解消されるのか。（いつ頃までに解消されるか） ・バイオマスの関係、進捗状況は。
決算報告についての意見	なし
その他意見	なし
懇談会テーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉津は東西にわかれ、東はほ場整備で半農半Xの取組もある。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西側は企業誘致のため、農業振興地域から除外して織物卸売業者が誘致されたが、それ以降は誘致が進んでいない。農業振興地域であれば補助制度などの適用もあるため、戻して欲しい。 <p>◆持続可能な地域</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の足確保に、グリーンスローモビリティなど必要では。 ・地元に戻っても希望する仕事がない。 ・盆正月は帰省する若者も多いが、転出が多く宮津に残らない。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴で米作りをはじめた南野陽子（伊丹市大使）がいるが、宮津でも著名人の活用を考えてはどうか。 ・企業誘致をすることで人が集まる施策を進める。

	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少化する中、移住定住に力を入れる。 ・若い世代のUターン者へ市も力を入れるべき。 ・宮津に楽しむ施設を作っていく。(飲みニュケーションが大事) ・吉津地域を中心にしたまちづくりを進める。(宮津に近い) ・福知山のSラボなど廃校の利活用を。(合宿につながる誘致策) ・(移住特区) 吉津が活性化していく良い道筋を出す策を。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の移住者を望む。そうした観点で市に考えてほしい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮川の河口部の浚渫を。 ・須津地区のバイオマスの件、回答がまだない。 <p>◆持続可能な観光地</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栃木のトレイルラン参考に検討してはどうか(宿泊に繋がる) ・観光税等で、観光の方と地域の方との差別化をしては。 ・観光について、タクシー予約が思うよう取れない。船による海上輸送も組み合わせる(法律面などもあるが、変える気概も必要) ・200円バスの利用料金を、観光客からは市民と区別し観光対策のため)1000円程度徴収しては。 ・(観光イベントなど)伊根、宮津、与謝と広域連携しては。 <p>◆持続可能な環境</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・須津地域(宮津トンネル)でゴミ投棄がある。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄について、監視カメラを付けては。 ・阿蘇海での黒口(クロクチ)がとれなくなった、再開できるよう調査をしては。 ・牡蠣殻集めは(ボランティアでなく)何かメリットも必要。
--	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

1班 班長 久保 浩

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年11月6日(月) 19:00~20:30
開催場所	上宮津地区公民館
出席議員	班長：久保 議員：松浦・坂根・松本・堀・幾世
参加人数	15人
令和4年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主財源と依存財源の比率、どの程度が健全と考えられるか。 ・ 基金は財政調整基金の他に何かあるのか。
決算報告についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型ごみの回収廃止の条例改正を議決したが、調整不足で回収を継続する再度の条例改正をした。条例改正の再提案時に、議会として(元に戻すことに関して)議論等をし、チェックしたのか。 ・ (上宮津地区公民館の移転関係)集会施設の改装に関する補助金の調査が終わった。補助金規則には、現在も上宮津と市内地域の補助率は30%、他の地域は40%の規定がある。過疎化率に関係していたと思うが、今は市内どこも過疎地域。市民は地域に関係なく納税しているため、補助率の違いをなくすよう改めていくべき。(市長特認事項の設定などで)
その他意見	なし
懇談会テーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オリーブを活用したまちづくり。 ・ 地産地消を進める。 ・ 農地に農作物を作るのは高齢化(人手不足)で獣被害に追いつかない。農地でも太陽光発電を設置できるようにしくみを変えて、農地を荒らさず稼げるものに変える(法令上の課題等あるが) <p>◆持続可能な地域</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代は小中学校の児童・生徒と親同士の顔の見える交流がない状態。(顔が見える交流があれば、困った時お互い助け合える) <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大江山の駐車場をヘリポートとして活用してはどうか。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (過去からの継続)光ファイバー、辛川地区は対象外で何とかならないか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 刑務所施設の（老人刑務所）誘致を。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「上宮津は地域でまとまるから行政支援はなくても大丈夫だ」との発想はやめて、そういう地域こそ大事にすべき。 ・ 観光パンフレットに上宮津も載せるとか、ホームページで発信するとか、地域を推す方法や知恵はいくらでもある。 ・ 「宮津をこうしていく」という行政のビジョンを住民が手助けし、「自分たちで出来ることは自分たちでやろう」が本来の姿。 ・ 地域の課題は地域が一番知っており、地域が動き行政がバックアップしていくのが今のまちづくりである。 ・ 伸びる地域は、子育て同様で横並びにせず伸ばすことを考える。 ・ コンパクトシティの全否定はしないが、押しつけは良くなく住み続けたい方があれば行政はサポートしていくべき。 ・ 保健福祉サービスについて市が外部委託するケースもあるが、公正公平な実施なのか疑問を持つこともある。最終責任は行政にあることを忘れないように。 <p>◆持続可能な観光地</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杉山の日本で8番目に大きい『たぶの木』を観光に活かす。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「海の京都」に上宮津地区が入ってない。加えてほしい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ピンころ地蔵・苦無神社が観光に活かされている。 ・ 杉山は「与謝の大山」といわれている。 <p>◆持続可能な環境</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの不法投棄、特に大型ごみ（テレビ、車のシートなど）が道路脇に目立つ。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみゼロ都市の旗を掲げる！！（どこもやっていないことをアピール。観光地でもありインパクト大で市民と行政が一体となって進める）
--	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

1班 班長 久保 浩

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年11月8日(水) 19:30~21:00
開催場所	栗田地区公民館
出席議員	班長：久保 議員：松浦・坂根・松本・堀・幾世
参加人数	25人
令和4年度決算に関する質問	・交付税の増額要因は全国も同じなのか。
決算報告についての意見	・5年間の財政健全化の進捗状況を報告された方が良い。 ・つつじヶ丘住宅地の売り方を(例えば、ゆとりのある方へ菜園場として)変更してはどうか。
その他意見	なし
懇談会のテーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地、休耕田が多い。 ・保全管理としての草刈りが大変。(例：脇地区で年3回草刈り) ・鳥獣被害で困っている。 ・米価が下がって困っている。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラジコン草刈り機等のスマート農業に切り替える。(例：篠山はトラクターもスマート農業化している) <p>◆持続可能な地域</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物するスーパーがなくなり、大変困っている。(スーパーがあったときは、海洋高校生も利用していた。) ・足の確保として栗田で始まった200円タクシー利用だが、中村～上司間は対象外、また、栗田駅の利用について、高齢者や足の不自由な人にとっては使いづらい。 ・自治会役員のなり手不足で存続が気になる。 ・公的機関など他地域に行く。 ・建物の空き家が目立つ。 ・学校の下校後、昔は学校で遊ぶことができたが、今はバスなので遊び場もなく遊びに行けない。 <p>【提案】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、海洋高校と一極集中で教育施設があり、大学を設置していったらどうか。場所は、エネ研跡地活用を考えられないか。 ・女性が喜んでもらえるコミュニティ（かけ橋）や場所をつくる。 ・女性の好む食べ物（他にない）宮津ならではのものを提供する。 ・祭を活かす。（今年は女子、婦人も参加し賑わった。） ・女性の参加が重要。 ・子供を産み育てたいまちをつくる。 ・人が集まる地域のため「魅力あるまち」をつくる。 ・栗田（上司）ファンをつくる。 ・（栗田）地域外の人に頼る。 ・就職口があれば若者は帰ってくるので、就職口をつくる。 ・エネルギー研究所跡の企業誘致を。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新宮地区と他の地域等の子どもたちが放課後に遊べる居場所として公民館を使いたい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小中高と栗田学院もあり、まとまりが良い。 ・栗田の子どもが良い環境で育っていったら欲しい。 <p>◆持続可能な環境</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸線のごみ不法投棄。奈具海岸は、特に釣り客のごみが多い。 ・釣り客による農作物の窃盗もある。排便もある。 <p>◆持続可能な行財政運営</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が定（低）額で住める場所のサポートをし、職があれば UI ターンが増えるのではないか。
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

1班 班長 久保 浩

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年11月9日（金） 19:30～21:00
開催場所	里波見公民館
出席議員	班長：久保 議員：松浦・坂根・松本・堀・幾世
参加人数	14人
令和4年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少などあるが交付税の状況は。 ・除雪費は義務的経費など、性質別の区分けはどこになるのか。
決算報告についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間の財政健全化の取組で、市職員の給与削減とのことだが、市民感覚では、賞与は多くもらっていると感じる。 ・市債残高について、結局真水でどうなったかを追う必要がある。 ・行政コストも出してほしい。
その他意見	なし
懇談会のテーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業（漁業）</p> <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元産品の拡充支援策を。（たけのこなど生産拡大の支援） ・地域の特色を生かした漁業や農業などに携わる移住も増えている中、稲作なども併せ就労支援の強化を願う。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産業（養老漁業（株））の従事者が、地元1/3、地元外から2/3であり、地元従事者が少ない実情だ。 ・鳥獣害について、鹿が増えサルは減っている。 <p>◆持続可能な地域</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校等跡の草刈り管理。（高齢化により地元管理できない） <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域を生かしたまちづくりを進める。 <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用促進をしているが、公的会合の時間と合っていない場合が多い。（例えば、9時からの会議にバスは9時6分到着。9時までに入らないと会議に参加できない時があった。）公的会合は、バスなどの時間も配慮してほしい。 ・海岸線の保全を。（防災） ・地域で稼ぐ環境づくりへの行政支援を。

	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里波見では移住者が6件あり、里波見への定住が進んでいる。 ・船で結婚式をあげ、海星公園で披露宴をされた素晴らしい取組があった。 ・養老地区への移住累計は約20件で、うち、約3件が移住後に養老から出て行かれた。 ・空き家バンク登録を上手く利用されており、現在は登録が追いつかないような状況である。 ・移住を考えている人とのトラブルが発生しないためにも、移住をされる前に地元民として実際に当該者と顔を合わせ、どういう人物なのかを知りたい。 (空き家バンク制度を使う場合は、行政で一定のチェックがされるが、そうでない場合は居住の自由もあり、地元側ではコントロール出来ない事もあり得るので、難しい課題でもある。) ・地元としての決まり(自治会費の納入義務、自治会作業に出る義務など)をしっかりと移住希望者に計画段階で知らせることでトラブル回避できる。 <p>◆SDG s による持続可能な地域</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水面の上昇が目に見えて分かる。以前はなかった岩を覆う波が毎日打ち寄せる。(地球温暖化の影響) <p>◆持続可能な行財政</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少の中、子育て世代を増やすため、もっと教育に力を入れるべき。(特に観光宮津として、小学卒業までには英語で観光案内できるよう宮津独自のカラーを出すべき。そうすれば親も地域・宮津に魅力を感じて移住定住が進む)
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

1班 班長 久保 浩

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年11月10日（金） 19：30～21：00
開催場所	日ヶ谷地区公民館
出席議員	班長：久保 議員：松浦・坂根・松本・堀・幾世
参加人数	13人
令和4年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・特別会計の赤字は何か。 ・会計年度任用職員の人件費は決算資料「歳出決算額」の義務的経費46.1%中の人件費に含まれるのか。
決算報告についての意見	なし
その他意見	なし
懇談会テーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地増加。高齢で草刈り困難。農業後継者不足。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の高付加価値で生活できる取組を。 ・小豆・紫蘇栽培の後継者育成を進める。 ・ジビエ等の新たな稼ぐ取組を進める。 ・都会への販路を。（コロナでの減少の対応） <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策でメッシュ柵などを設置するにも人手不足。草刈りもしかりで、企業が応援できるようなしくみを行政として考えてほしい。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都会、田舎に対する価値観の違いから、（日ヶ谷のように）田舎で農業などして自給する考えの人も増えてきている。 <p>◆持続可能な地域</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化で施設入所が増え、更に人口減少。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元への受け入れ体制として寺の利用もOK。（地元住職） <p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日ヶ谷ぐらし応援隊」が設立され、様々取り組み中だが、HPなど情報発信できる人材がなく（クロスワークセンターの仲介

	<p>依頼含め) 行政に助けて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働く所がほとんどない。(企業誘致を) <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に負けない人物を育てる上で競争心を育み、得意な分野を伸ばすことに特化する教育が期待される。 ・厳しい将来を生きる上で、子供達がハングリー精神を持つべき。(教育も競争心を持たせる教育になってないと思われる) ・3名Uターンが(定年等による)あり、自治会へも参加中。 ・若手へ日ヶ谷の魅力を発信する。 ・奥さん含むUターンの推進。(奥さんを説得し夫婦でUターン) ・他府県では、外国人による土地買収があるようだ。日ヶ谷でも今後、買収が出てくるのではと懸念される。 ・生活の糧に繋がるよう、小さい頃からやりたいことを伸ばす家庭での教育環境、学校での教育環境が望まれる。 <p>◆持続可能な環境</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最近では、人里まで熊などが餌を探す。昔のように山林手入れすれば人里まで来ないのでは。(しかし地元は人手がない)
--	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

1班 班長 久保 浩

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年10月23日（月） 19：00～20：30
開催場所	世屋地区公民館
出席議員	班長：宇都宮 議員：安田・河原・星野・長本・横川
参加人数	7人
令和4年度決算に関する質問	・現在の財政状況は、持続可能な行財政有識者会議で決めた目標をクリアできているのか。また、その計画とは。
決算報告についての意見	なし
その他意見	なし
懇談会テーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発などの補助金はあるが、農業人材育成のための補助金がない。 ・人手不足の問題。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族農業のところに人材が必要。 ・耕作放棄地を解消のための補助金が必要。 <p>◆持続可能な地域</p> <p><暮らし></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通アクセスが悪い。 ・学校が遠い。 ・生活がしにくい。 ・大雪になると木の上の方が簡単に切れる。 ・自治会においても人材不足ですぐに順番が回ってくる。 <p><空き家・空き地></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家バンクに人がこない。 ・空き家の放置問題(ゴミやトタンなどの飛来で景観が悪い) <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家を解体してはどうか。

	<p>【要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政代執行などはできないか。 <p>◆持続可能な観光地</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域拠点となっていた「しおぎり荘」と「家族旅行村」の廃止。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤織りの活用。cf.1989(平成元年)年「丹後藤織り保存会」が発足。 ・雪の活用。 ・インバウンド。(雪のPRで東南アジア向けインバウンドを増) ・除雪車による「雪の壁」の見学ツアー。 ・雪の遊び。(かんじき、スノーモービル、かまくら、雪まつり、メープルシロップ作り) ・雪中でのコスプレ撮影。 <p>◆持続可能な行財政運営</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やすには、まず「子育てしやすい環境づくり」が必要。
--	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

2班 班長 宇都宮 綾

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年10月31日（火） 19：30～21：00
開催場所	（宮津中部地区・宮津西部地区） 福祉・教育総合プラザ 第1コミュニティルーム
出席議員	班長：宇都宮 議員：安田・河原・星野・長本・横川
参加人数	9人
令和4年度決算に関する質問	・健全運営がされている反面、必要なところに対し投資ができていないのか。
決算報告についての意見	なし
その他意見	若者の参加がない
懇談会テーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地が増え続けている。 ・高齢化になっていて担い手が不足している。 ・規模が小さな所が多い。 ・全体的な人手不足が大きな課題である。 ・需要と供給のバランスが悪い。 ・米離れが進んでいる。 ・農業で食べていけない。 ・中国産や農薬の問題など安全性のこと。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な法人化が必要ではないか。 <p>◆持続可能な地域</p> <p><雇用></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働き口がない。 ・製造業の比率が少ない。 ・グンゼ宮津工場の従業員が激減。（ピーク時は約2千人、今は約100人） ・広い土地がなく企業進出が困難。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺市町の企業へ通勤圏を確立する。 ・サプライチェーンを再構築し、中国の影響を回避する。

	<p><暮らし></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町中に薬局やドラッグストアがない。 ・通勤手段が自家用車に集中。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の働き口をつくる。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備が進んできた。 <p><空き家></p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古民家の再生。 ・空き家が増えているが、活用次第である。 <p>◆持続可能な観光地</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼食を食べるところが少ない。 ・観光の依存度が高すぎる。 ・「天橋立」は全国で周知されているが「宮津市」は無名。 ・宮津は美味しいものがたくさんあるが、成功していない。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光業はすそ野が広く、依存度も高い。 <p>◆持続可能な行財政運営</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て施設が未整備。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税が増えてきたので、更に伸ばす可能性がある。 ・全体を総括するリーダーやアイデアマンが必要。
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

2班 班長 宇都宮 綾

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年11月1日（火） 19:30～21:00
開催場所	府中地区公民館
出席議員	班長：宇都宮 議員：安田・河原・星野・長本・横川
参加人数	11人
令和4年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税がなければ市民税の税収はどのくらいあるのか。 ・宮津市の国庫支出金の内容は。 ・花火はどの予算なのか。花火を行うことの費用対効果は。 ・自主財源の割合と他の自治体との比較は。 ・土地造成事業のつつじが丘住宅を販売するための努力は。 ・若者未来応援基金の額はどのくらいあるのか。 ・庁舎整備の基金の額や進捗状況などについて。
決算報告についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎は必要なく、リモートでもいいという考え方もあるが、そうすることで、その基金を「若者未来応援基金」に回すなども考えられる。 ・老朽化した時に、文化的な価値あるものにするなどの工夫も必要ではないか。
その他意見	なし
懇談会テーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣の被害の問題 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿やイノシシの捕獲強化 ・耕作放棄地の活用。（貸し農園など） ・府中地区の道の駅設置。（農産物や海産物の販売） ・有害鳥獣対策として、各個人の土地を囲うための補助金 <p>◆持続可能な地域</p> <p><自治会></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の参画が少ない。 ・女性への負担。（子育て家事の全般は女性が担っている。） ・役員は男性ばかりであること。

<暮らし>

【課題】

- ・少子化、高齢化の問題

【提案】

- ・若い人が集う文化施設が必要
- ・動けない高齢者が増えるため、グリーンスローモビリティなどの活用施策。
- ・老人のUIターンの推進や老人が住みやすいまちづくり。

【その他】

- ・自然環境や景色が抜群に良い。
- ・自営業者は女性が頑張っている。

<雇用>

【課題】

- ・働く所がない。

【提案】

- ・市役所の改修。
- ・職員が働きやすい環境に整える。(休暇取得なども含む。)
- ・労働者の休暇取得がしやすい環境整備。
- ・社会福祉が充実した施策。
- ・介護の賃金アップが必要。

◆持続可能な観光地

【課題】

- ・観光の公害化。
- ・観光地のトイレ設置が必要。(観光客が常にトイレを探している状況)

【提案】

- ・丹後資料館の観光としての活用。(カフェの併設など)
- ・天橋立が見える山の上からの観光開拓。

◆SDGS による持続可能な地域

【提案】

- ・太陽光発電の推進。(空き地の活用)

◆持続可能な行財政運営

【課題】

- ・行政サイドの動きが悪い。
- ・現場に出てきてほしい、机上でやっているように感じる。
- ・議員も市民の方を向いて仕事してほしい。

	<p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュタットベルケなどの仕組みを取り入れてはどうか。 (自治体も自ら稼ぐ仕組み) ・再度合併の話を進めるべきではないか。 ・何か問題があることに対しての行政、議員、地域間の仕組み考え直すべきではないか。 <p>◆持続可能な環境</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き山林バンクというものもある。 ・自然資本を使って、お金を稼ぐ。 ・市民が稼げる仕組みをつくる。 ・バイオマス発電を取り入れる。 ・様々な規制がかかっていることがマイナスになっているのではないか。 ・ごみのリサイクル。まだ使えるものをごみにしない。
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

2班 班長 宇都宮 綾

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年11月6日(月) 19:00~20:30
開催場所	由良地区公民館
出席議員	班長：宇都宮 議員：安田・河原・星野・長本・横川
参加人数	13人
令和4年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況は以前、夕張市に次ぐ悪さであった。現在は改善がみられるが、今後問題はないのか。 ・大きなプロジェクトの計画はあるのか。 ・火葬場の問題はどうか。 ・土地建物造成事業(つつじが丘団地)は赤字を抱えているが状況は。 ・下水道の整備率はどのくらいなのか。
決算報告についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・財政健全化によって、人件費削減(職員数減)の問題。見通しがたたず、未来の見えないところには、職員募集しても人はこない。サービスの低下につながる。 ・財政健全化と言われるが、市民の負担はいつまでなのか、見通しが分からない。
その他意見	なし
懇談会テーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者(担い手)が必要。 <p>◆持続可能な地域</p> <p><雇用></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事、働く場がない。 <p><暮らし></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路が狭く、車の侵入の問題がある。 ・自治会に入らない人がいる。 ・地域で話をしても活性化の良案が出ない。 ・高齢化率が高く活気がない。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で明るく生きること。 ・高齢者が、地域で活躍できる場面づくり。

- ・周りの地域との連携が必要であり、由良川サミットなどの開催をしてはどうか。

＜空き家・空き地＞

【課題】

- ・空き家の中に動物が住みついている。
- ・空き家が多いが、空き家バンクの登録が少ない。
- ・先祖のお守りをどうするかという問題がある。
- ・親から受け継いだ土地を手放せない状況。
- ・空き家活用におけるハードルは、トイレ問題である。
- ・持ち主が市外へ出ているために、空き家バンクの存在を知らない。

【提案】

- ・空き家をリフォームにしたモデルハウスなどを作成。
- ・不動産屋に売却してはどうか。
- ・空き家の利活用。

◆持続可能な観光地

【課題】

- ・観光に来られても写真を撮るだけである。
- ・北前船ができて、つながるものがない。
- ・鉄橋を昔は歩けたはずだった。

【提案】

- ・田舎であることを「売り」にすべきである。
- ・観光と祭の取り組み。(花火、オーリーブ)
- ・もみじ公園の民間活用による活性化。
- ・鉄橋近くにビュースポットを設置。(撮影場所)
- ・鉄橋が見える道の駅の設置。
- ・コンビニ周辺の新たな開発。
- ・ウインドサーファーをターゲット。
- ・稼げる観光を。
- ・由良地区のマップづくり。(自ら地域を歩く取り組み)

◆持続可能な環境

【課題】

- ・トイレなど下水道の問題がある。
 - ・公共施設の閉鎖。(トイレの閉鎖など)
 - ・合併浄化槽に対する補助。
 - ・観光地問題の解決。
- (海岸ごみ、駐車場、トイレ設置、空き家の別荘化)

	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然・景観が最高に良い。 <p>◆持続可能な行財政運営 (人口減少)</p> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校存続で子供を増やす施策。 ・祭りの存続で子どもが戻れる環境整備。(Uターン) ・地元のよいところの SNS を使って発信。
--	---

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

2班 班長 宇都宮 綾

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年11月7日（火） 19:00～20:30
開催場所	日置地区公民館
出席議員	班長：宇都宮 議員：安田・河原・星野・長本・横川
参加人数	18人
令和4年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・日置診療所閉鎖問題についてはどうか。 ・財政調整基金や将来負担比率など、府内でワースト1となっている要因は何か。
決算報告についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・診療所の閉鎖の件で、身の丈にあった市政運営のためにどうしても閉鎖しなければならないとの回答であったが、大事な命に関わることを切っていくのはどうかと思う。 ・財政面でできないことが多い。 ・市の事業が見えない。 ・事業は新しいものがなく、減らすことばかりである。 ・リゾートマンションの固定資産税が入っているが、日置地区以北は下水道整備がされないことが問題である。 ・道の駅のトイレにはお金をかけている。 ・日置地区に学童保育がないことは問題である。 ・市はどこを持続可能として目指しているのか、方向性がわからない。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・今回出席したが、市民への意見聴取方式とは思わなかった。（議員に意見を伝えたかった。） ・日置地区では診療所閉鎖問題があり困っている。 ・宮津市は日置地区をどうしていこうと思っているのか。 ・日置以北はあらゆるものがなくなる。（診療所、小学校など）これで持続可能になるのか疑問である。 ・地域間に格差があり、地域によって偏りがあるように感じる。
懇談会テーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良農地の担い手問題。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地転用での利活用。（過去に市が農地転用を認めてくれなかったことがある。） ・有害鳥獣対策とジビエの活用。 ・耕作放棄地の活用。（市が主導）

【その他】

・日置地区は豊かな土壌である。

◆持続可能な地域

<雇用>

【課題】

・若い人たちの仕事ができる環境が整っていない。

【提案】

・企業の役職定年者をターゲットにした働き場をつくる。

<暮らし>

【課題】

- ・日置小学校の廃止。
- ・交通の便が悪く、運賃も高い。
- ・街中に美味しい店が少ない。
- ・身近な金融機関が郵便局しかない。
- ・歩いて買い物に行ける店がない。

【提案】

- ・上地区と浜地区の交流が必要だ。
- ・日置や橋北の地域づくりのビジョンが必要だ。
- ・地域には、医療施設や学校の必要性がある。
- ・地元のニーズに合う市の補助金が必要。

【要望】

・高齢者も若者も、暮らしやすい地域にしてほしい。

【その他】

・日置地区の住民は人がよい。

<高齢者>

【課題】

・弱者をサポートする制度が弱い。

【その他】

- ・サロンの継続。(毎月1回19人から23人の参加)
- ・健康維持。(自分で歩いていける医療機関があること)

<空き家・空き地>

【提案】

・空き家のトイレを整備して活用。

◆持続可能な観光地

【課題】

・伊根町は、オーバーツーリズムの状況。

	<p>◆持続可能な地域医療と健康づくり</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療所閉鎖が地域にとって大きな問題である。 ・日置診療所と医療体制の将来に不安。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して暮らせる医療体制の構築。 ・日置診療所を存続させるには地元が資金負担するくらいの覚悟も必要だ。 <p>◆持続可能な環境</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が、地域の歴史を知らない。 ・下水道整備ができない。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景色がとてもよい。 ・日置地区には、豊かな資源がたくさんある。 <p>◆持続可能な行財政運営</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化と人口減少が著しい。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと宮津の良さをアピールし、地域を盛り上げることが必要。 ・税収を上げる工夫が必要ではないか。 ・市の情報発信の強化。 <p><移住定住></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者に厳しい。(解けこめない) ・今までのインフラ施策では、若者が住めない状況。 ・移住特区は「地元民」を豊かにする施策にすべきだ。 ・学童保育の整備が必要である。 ・若者に来てほしいが、学校、下水道、診療所など生活関連の問題があるため、移住に繋がらない。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんばる地元民を支援する施策が弱い。 ・スーパー公務員の木村俊昭さんのような逆境をプラスに変える施策が必要だ。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住特別区。
--	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

2班 班長 宇都宮 綾

「市民と議会の懇談会」報告書

開催日時	令和5年11月10日（金） 19：30～21：30
開催場所	(宮津市東部・宮津市城南部地区)城東会館
出席議員	班長：宇都宮 議員：安田・河原・星野・長本・横川
参加人数	12人
令和4年度決算に関する質問	<ul style="list-style-type: none"> ・府内ワースト1とのことだが、なぜそうなったのか。 ・約2億円の黒字決算だが、改善しているという理解でよいのか。また、黒字決算となった理由は何か。 ・建設地方債のキャップについての説明を求める。 ・職員の仕事量の負担が大きく、退職者があると聞くがどうか。
決算報告についての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見を聞いて、政策的にやっていただきたい。 ・財政健全化は市民負担をかけているという認識である。
その他意見	<ul style="list-style-type: none"> ・議会報告会の参加者が少ないのはなぜなのか。 ・議会はチェック機能を果たしているのか。
懇談会テーマ	「持続可能なまちづくり」
テーマについて聴取した意見等	<p>◆持続可能な農業</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑草が生えたままの耕作放棄地が目立つ。 ・有害鳥獣被害がある。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世屋では、無農薬米を生産している。 <p>◆持続可能な地域</p> <p><雇用></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トリガイ事業などが、舞鶴市に持っていかれる。 ・企業の流出で、働く場の確保が必要。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮津エネルギー研究所跡の活用。 ・海洋高校と連携した学園都市構想。 ・市外から流入する学生に備える寮などの整備。 <p>(暮らし)</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の子ども達に「帰っておいで」と言えない。 ・高齢化のため登下校の見守りや子ども110番の対応が困難である。 ・高齢化の交通対策の問題。 ・プレミアム商品券の購入方法に不公平感がある。

【提案】

- ・中学生までは全てを無償化にするべきである。
- ・生活支援か経済支援が必要だ。

<自治会>

【課題】

- ・高齢化と少子化で行事ができない。
- ・自治会行事などに参加せず、無関心な人が多くなった。

<空き家・空き地>

【課題】

- ・持ち主が都会へ出ている。
- ・手入れされていない状態が見られる。
- ・雑草や動物の侵入問題がある。

【提案】

- ・空き家バンクの活用をすべきではないか。

◆持続可能な観光地

【課題】

- ・コロナを経て観光は危ういと感じている。
- ・昼食を食べるところが少ない。

【提案】

- ・雪を活用すれば、観光に繋がる。
- ・滞留時間の長い観光。
- ・まちの強みを磨く。
- ・レンタル自転車の活用。
- ・由良から伊根に至るサイクリングロードの整備。
- ・燈籠流し花火大会の活用
(有料観覧席の増加や豪華食事つき席の設置)
- ・優れたコーディネーターやプランナーの招聘が必要だ。
- ・丹鉄とのコラボ。(来年の宮津線 100 年で由良川鉄橋の活用)

◆持続可能な環境

【その他】

- ・宮津湾は湧き水がでる豊かな海で、漁業に適している。
- ・日本三景天橋立などの景観が素晴らしい。
- ・上宮津地区の杉山にある杉の大木など自然が豊かだ。

◆持続可能な行財政運営

<人口減少>

【課題】

- ・人口減少と少子高齢化の問題、子どもの数が急激に減少。

	<ul style="list-style-type: none">・人口減少を食い止めるにはどうしていくのか。・宮津会館は耐震問題で使えないままにしておくのはなぜか。・宮津球場のスコアボードが老朽化のため立ち入り禁止だ。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none">・他市に負けない少子化対策。・結婚しない人が増えているが、婚活パーティーなどの開催。・島崎公園を駐車場にしたらどうか。・宮津市役所別館(部局)をミップルの方へ移動してはどうか。
--	--

「市民と議会の懇談会」の内容を班会議において取りまとめましたので報告します。

令和6年1月17日 宮津市議会議長 長本 義浩 様

2班 班長 宇都宮 綾